



## ご家庭でブドウ栽培を してみませんか？①

【指導員】 果樹課 大和屋 尚享

### 秋

といえは、果物の季節です。管内でもリンゴやブドウ、梨など様々な果物が栽培され店頭に並びます。食後のデザートに、あるいは加工してジュースやジャムにと果物はいろいろな食べ方ができますね。

そんな果物ですが、皆さんも「育ててみたい」と思ったことはありませんか？

実際に植えてみたいと思っても、「家には広い庭なんてないし」と諦めていませんか？

そんな皆さまに朗報です。知っている人、すでに実践している人もいるかもしれません

が、実は果樹は、「鉢植えが可能」なのです。今回は、鉢植え栽培について、ブドウを例として説明します。

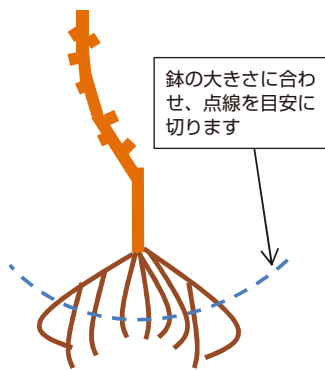
ブドウには様々な品種がありますが、近年はシャインマスカットをはじめ、巨峰やピオーネといった大粒品種が特に人気があります。

さあ、実際に植えてみましょう！

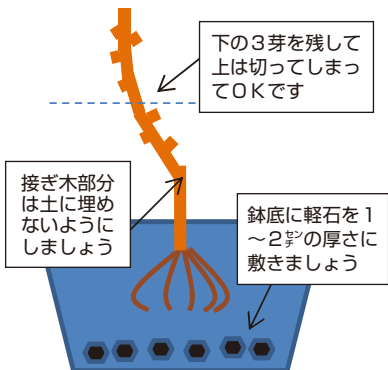
#### ○準備するもの

- ・好きな品種の苗木  
(できれば接ぎ木苗)
- ・イボ竹
- ・大きめの鉢 (10号)
- ・園芸用土(排水の良いもの)
- ・園芸用軽石

**STEP 1**  
根っこの先を切り詰めましょう

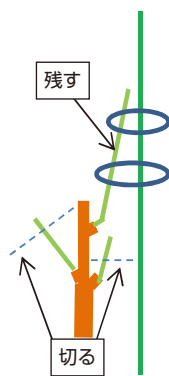


**STEP 2**  
鉢に植えましょう



#### STEP 3

新梢が伸びたら支柱を立てましょう



#### ○注意するポイント

・シャインマスカットや巨峰は大粒種、キャンベル・アーリーやナイヤガラは中粒種になります。好みに合わせて品種を選びましょう。大粒種は確実に実をつけさせるために、ジベレリンという植物ホルモンで処理して種なしのブドウにします。

・買ってきた苗木は乾かさないうようにしましょう。植える前に、水の入ったバケツに苗木を入れて、苗木に十分水を吸わせておきましょう。

・植えつけは10月下旬〜11月上旬か、4月中〜下旬が適しています。  
・ブドウは排水が悪いと生育に影響を及ぼします。鉢底に軽石を敷きましょう。合

わせて排水の良い土を選びましょう。

・残した芽から新梢が成長してきます。成長の最も良い新梢を主枝候補として1本残して、残りは全て切りましょう。

・植えつけたら、肥料をひとにぎり (50グラム程度) 表面にまいておきましょう。

・植えたばかりの苗木の成長を助けるためには、肥料をあげるより、しっかりと水をあげることの方が大切です。乾燥してきたな、と思ったら、たくさん水を与えてください。

・ブドウは病気や害虫にとっても弱いです。雨にあたると病気が発生しやすくなります。鉢を置く場所は雨が当たらない所、そして太陽の光がたくさん当たる所に置くようにしましょう。

◇ 成長が進んだ後の仕立て方などは、次回 (翌年2月号予定) の営農ワンポイントアドバイスでお知らせいたします。お楽しみに！